

平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	医療分野の研究開発の推進(東北メディカル・メガバンク)			担当部局	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	小瀬 達之	
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月東日本大震災復興対策本部)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、科学技術イノベーション総合戦略2014(平成26年6月24日閣議決定)健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定)他			
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	将来的に東北発の次世代医療を実現することを目指し、東日本大震災の被災地の住民を対象として健康調査を実施し、大規模なバイオバンクを構築する。現在は、健康調査の結果の回付等を通じて被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、バイオバンクを用いた解析研究を実施することにより、個別化予防等の基盤を形成する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	東日本大震災の被災地に医療関係人材を派遣して住民の同意を得つつ健康調査を実施し、健康調査の結果の回付等を通じて被災地住民の健康不安の解消に貢献するとともに、15万人規模の生体試料、健康情報等が収集されたバイオバンクを構築することで、次世代医療の実現のための基盤を形成する。さらに、協力者から得られたゲノム情報、健康情報、診療情報等を併せて解析することで、遺伝的要因や環境要因と疾患との関係を明らかにし、病気の正確な診断や予防、薬の副作用の低減等の次世代医療の実現を目指す。(補助率定額)							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	5,607	3,936	3,343	2,957	1,297	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	3,869	28	-	-	
		翌年度へ繰越し	▲ 3,869	▲ 28	0	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	1,738	7,777	3,371	2,957	1,297		
執行額	1,714	7,768	3,340					
執行率(%)	99%	100%	99%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度	
	平成28年度までに地域住民コホート調査は8万人以上のリクルートを達成	地域住民コホート調査のリクルート数 (注)平成25年度より調査開始	成果実績	人	-	20,124	34,490	
			目標値	人	-	16,231	31,387	80,000
			達成度	%	-	124%	109.9%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度	
	平成28年度までに3世代コホートは7万人規模のリクルートを達成	3世代コホート調査のリクルート数 (注)平成25年度より調査開始	成果実績	人	-	3,548	19,675	
			目標値	人	-	5,008	28,161	70,000
			達成度	%	-	70.8%	69.9%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	特定健診参加型調査の実施地域数 (注)平成25年度より調査開始	活動実績	市町村数	-	17	21		
		当初見込み	市町村数	-	17	21	18	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	地域住民コホート調査関連経費÷リクルート人数	単位当たりコスト	(円/人)	-	52,546	40,264	35,027	
		計算式	(百万円/人)	-	1,056/20,095	1,339/34,485	1,028/29,352	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	3世代コホート調査関連経費÷リクルート人数	単位当たりコスト	(円/人)	-	67,320	42,863	25,007	
		計算式	(百万円/人)	-	239/3,548	840/19,620	864/34,563	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	特定健診参加型調査関連経費÷実施市町村数	単位当たりコスト	百万円/市町村	-	26.9	2,264	2,574	
		計算式	百万円/市町村	-	457.6/17	740/327	677/263	

平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	医療研究開発推進事業費補助金	2,957	1,297	事業の目的である、健康調査の結果の回付等を通じた被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、大規模なバイオバンクを構築する目的の達成に向かう一方で、一般的な疫学的研究と復興財源で行うべく事業を区分・整理したことによる減。
計	2,957	1,297		

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	・東日本大震災の被災地の復興のために国が取り組むべき施策であるとともに、個別化医療等次世代医療に対する社会の期待に応える事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	被災地の医療復興とともに、我が国の次世代医療の基盤となる成果の創出を一体的にする事業であり、地方自治体、民間等での実施は困難である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	・東日本大震災の被災地の復興のために国が取り組むべき施策として、「東日本大震災からの復興の基本方針」、「健康・医療戦略」等に位置づけられており、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	必要経費のみを措置した上でほぼ目標に見合った成果を挙げており、妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	コホート調査、ハイオバンク構築、ゲノム等解析研究及びそれら実施のための運営に必要な経費のみが計上されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	毎年度、単価見直し等によるコスト削減に向けた工夫が行われ、その成果が反映されている。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	地域住民コホートのリクルート数は目標を超過して達成。三世代コホートのリクルート数は一層の努力が必要である。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込み数と実績数は一致している。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	コホート調査、バイオバンク構築、ゲノム等解析研究及びそれら実施のための運営に十分に活用されている。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	オーダーメイド医療の実現プログラムは、病院にて疾患患者から提供頂いた試料を用いたゲノム解析等を実施。住民コホートで協力者から提供頂いた試料を用いて解析を行う本事業との役割分担は適切に実施されている。		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
文部科学省研究振興局研究振興戦略官	226	オーダーメイド医療の実現プログラム				
点検・改善結果	点検結果	平成25年度からの本格的な健康調査の開始に際して、コホート調査や解析研究等の具体的な実施計画(「東北メディカル・メガバンク計画全体計画」)を平成24年度に「東北メディカル・メガバンク計画推進本部」において決定し、本全体計画に則った事業運営を行っている。被災地の復興と東北発の次世代医療を実現すべく、他の先行して実施されているコホート等の知見を有効に活用しつつ事業を推進している。また、事業の実施に当たっては「東北メディカル・メガバンク計画推進委員会」等の助言を踏まえ、事業の進捗に応じて全体計画の改訂等を実施し、適切な進捗管理に努めると共に、平成27年度からは日本医療研究開発機構の設置に伴い、PD,PS,POを通じた関連事業との一体的なプロジェクト管理を実施する事で、効率的な運用に努めている。				
	改善の方向性	引き続き、「東北メディカル・メガバンク計画推進委員会」等において事業の進捗管理を適切に実施しつつ、PD,PS,POを通じた関連事業との一体的なプロジェクト管理の元で、「東北メディカル・メガバンク計画 全体計画」に基づき事業を推進する。必要に応じて全体計画の見直し等を実施するとともに、予算の執行状況に関する点検・検証に努める。				
外部有識者の所見						
復興事業として実施すべき内容であるかについて引き続き精査を行い、一般会計等による対応、事業規模の適正化について検討すること。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の一部改善	事業の進展とともに、一般的な疫学的研究と、復興財源で行うべく事業を区分・整理(疫学的研究は一般会計へ移行)することが適当である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業の目的である、健康調査の結果の回付等を通じた被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、大規模なバイオバンクを構築する目的の達成に向かう一方で、一般的な疫学的研究と復興財源で行うべく事業を区分・整理した(対前年度比1,660百万円減)					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	文科-0273、0033	
平成25年度	文科-0247、0039、新25-0022	平成26年度	文科-0239、文科-0244、058			

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.次世代医療研究開発拠点形成事業費補助金			B-2. 株式会社ムサシ 仙台支店		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
補助金	東北メディカル・メガバンク計画の実施	3,355	業務委託費	データ入力及び画像作成費	54
計		3,355	計		54
A-1.国立大学法人東北大学			B-3. 株式会社セイミ		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	業務担当者等の人件費、社旗保険料事業主負担分	1,575	保守料	バイオバンク仕分け自動化システム保守	14
業務実施費	消耗品の購入、旅費、雑役務等	1,147	設備備品費	バイオハザード対策用キャビネット 1式	14
設備備品費	設備備品の購入	30	設備備品費	CO2インキュベーター 1式	11
			消耗品費	Autopure関連消耗品費	7
			保守料	DNA自動抽出装置の保守業務	5
計		2,752	計		51
A-2.学校法人岩手医科大学			B-4. 株式会社近鉄ロジスティクス・システムズ 仙台営業所		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務実施費	消耗品の購入、旅費、雑役務等	375	通信費	生体試料搬送業務	47
人件費	業務担当者等の人件費、社旗保険料事業主負担分	210			
設備備品費	設備備品の購入	18			
計		603	計		47
B-1 株式会社LSIメディエンス			B-5. 株式会社シバタインテック		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務委託費	生体試料検査業務委託	98	消耗品費	ラック入り2Dコード付検体保存チューブ	17
			保守費	iScan Full Automationモデルシステム保	8
			保守費	HiSeq2500 GC-5モデル保守業務	3
			設備備品費	マルチガスインキュベーター 1式	3
計		98	計		31

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

B-6. 株式会社南部医理科 仙台支店			B-10.マンパワーグループ株式会社 仙台支店		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
保守費	CPT単核球分離用採血管	30	その他	労働者派遣業務	22
保守費	BDパキュティナ CPT ヘパリン	7			
計		37	計		22
B-7. 株式会社日立製作所 東北支社			C-1. 株式会社ビー・エム・エル		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
消耗品費	CPT単核球分離用採血管	22	業務委託費	健康調査血液検査	75
消耗品費	BDパキュティナ CPT ヘパリン	7	消耗品費	血液検査用容器	1
計		29	計		76
B-8. 凸版印刷株式会社 東日本事業本部			C-2. 公益財団法人岩手県予防医学協会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務委託費	電子マネーポイント付与等業務	25	業務委託費	健康調査血液検査等	34
計		25	計		34
B-9. 富士通株式会社 東北支社			C-3. 株式会社南部医理科		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
その他	統合データベースシステムマスター設定	12	消耗品費	健康調査必要消耗品等	17
その他	コホート情報基盤システム変更	11	設備備品費	内臓脂肪測定装置等検査用機器	5
			保守料	検体処理用機器保守	2
計		23	計		24

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

C-4. 公益財団法人結核予防会			C-8. 株式会社アイ・シー・エス		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
消耗品費	健康調査必要消耗品等	7	業務委託費	健康調査票データ入力業務	13
設備備品費	超音波骨密度測定装置等検査用機器	6			
計		13	計		13
C-5. ヒューマンリソシア株式会社			C-9. 株式会社平金商店		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
業務委託費	特定健診会場誘導人員等人材派遣業務	16	消耗品費	健康調査必要消耗品等	7
			設備備品費	データ管理保存用ファイルメーカーサーバー等	2
			業務委託費	TV会議システムサービス利用料	1
計		16	計		10
C-6. 日本郵便株式会社			C-10. 株式会社日専連パートナーズ		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
通信費	健康調査票発送・返送等	15	業務委託費	健康調査協力者謝礼	10
計		15	計		10
C-7. 共立医科器械株式会社			X.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
消耗品費	健康調査必要消耗品等	7			
設備備品費	超音波骨密度測定装置等検査用機器	6			
計		13	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東北大学	東北メディカル・メガバンク計画の実施	2,752	-	-
2	学校法人岩手医科大学	東北メディカル・メガバンク計画の実施	603	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社LSIメディエンス	生体試料検査業務委託	98	2	93%
2	株式会社ムサシ 仙台支店	データ入力及び画像作成費	54	3	88%
3	株式会社セイミ	バイオハザード対策用キャビネット 等	51	複数案件	-
4	株式会社近鉄ロジスティクス・システムズ 仙台営業所	生体試料搬送業務	47	2	100%
5	株式会社シバインテック	ラック入り2Dコード付検体保存チューブ 等	31	複数案件	-
6	株式会社南部医理科 仙台支店	採血管等	30	複数案件	-
7	株式会社日立製作所 東北支社	運用・管理・解析支援業務 等	29	複数案件	-
8	凸版印刷株式会社 東日本事業本部	電子マネーポイント付与等業務	25	1	100%
9	富士通株式会社 東北支社	統合データベースシステムマスター設定変更 等	23	複数案件	-
10	マンパワーグループ株式会社 仙台支店	労働者派遣業務	22	2	100%

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ビー・エム・エル	健康調査血液検査等	76	随意契約	-
2	公益財団法人岩手県予防医学協会	健康調査血液検査等	34	随意契約	-
3	(株)南部医理科	健康調査必要消耗品等	25	随意契約	-
4	公益財団法人結核予防会	サテライト型健康調査予約受付業務等	18	随意契約	-
5	ヒューマンリソシア(株)	特定健診会場誘導人員等人材派遣業務	18	随意契約	-
6	日本郵便(株)	健康調査票発送・返送等	15	随意契約	-
7	共立医科器械(株)	健康調査必要消耗品等	13	随意契約	-
8	(株)アイ・シー・エス	健康調査票データ入力業務	13	随意契約	-
9	(株)平金商店	健康調査必要消耗品等	10	随意契約	-
10	(株)日専連パートナーズ	健康調査協力者謝礼	10	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人科学技術振興機	東北メディカル・メガバンク計画事業の管理等の支援事務	9	企画競争	-